

会 議 録

1 会議名

令和2年度第5回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告事項（公開）

・三和ふれあい農園の休止について

（2）協議事項（公開）

①各種団体への温浴・宿泊施設の説明の状況について

②令和2年度地域活動支援事業採択方針等の振り返りについて

3 開催日時

令和2年10月29日（木）午後6時30分から午後7時56分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名

・委員：飯田英利、池田輝幸、江口 晃、小山田幸雄、金井茂康、小林則子、高橋鉄雄、
田辺敏行、星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己、森由美

（14人中13人出席）

・農村振興課：廣田副課長、関主任

・施設経営管理室：竹下室長、田中主事

・事務局：三和区総合事務所 山本所長、栗本次長、西山市民生活・福祉グループ兼教育・
文化グループ長、池田地域振興班長、飯田副主任

8 発言の内容（要旨）

【栗本次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席

を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【高橋会長】

－挨拶－

- ・会議録の確認を江口晃委員に依頼

【高橋会長】

報告事項に入る。三和ふれあい農園の休止について、農村振興課の説明を求める。

【廣田副課長】

資料No.1により説明

【高橋会長】

ただ今の説明に、質疑等を求める。

【松井委員】

今までどのような方が利用していたのか。また、休止に至るまでの経過の中で担当課として、農園の利用についてどのような工夫、検討をしてきたのか。もう一点、草刈りはどのような方法で、それに対する予算をどのように考えているのか。

【廣田副課長】

利用者は、農業者ではない方が家庭菜園として利用していた。多くが合併前上越市の方である。

次に、休止に至るまでの検討状況について、農園は全43区画であるが、大雨や台風等による土砂崩れ等により、現在使用できるのは37区画となっている。市としては、この37区画全て利用していただくために、広報やチラシ等で募集していた。

今後の草刈りの方法については、6,000㎡と広い敷地であるため人力での草刈りではなく、トラクターモアなど大型機械を用いた草刈りを考えている。予算については、現段階では市議会にも諮っていないため、はっきり申し上げることはできない。

【松井委員】

この案件だけでなく、いきなり休止や休館の報告になっている。利用方法はいろいろあるはずである。休止する前に、これだけの土地を行政の立場でどのように利用したらいいのか検討し、努力してきたか聞きたかった。

この休止の報告の前に、この土地を利用してくれる農家がいなかったのか。また、内部検討の中で、上越市全体の農家に足を運んでこの土地を利用してもらうための努力をすること

があったのかどうかである。内部努力が足りないのではないかと言いたい。

【高橋会長】

ただいまの質問は、すでに回答していることなので、他に質問はあるか。

【田辺委員】

今後の管理体制については草刈りということであるが、現在は畑という事で耕作されている。水田は国の構造改善事業で構造的に良くした場合、ある程度の年数が経過しなければ国へ補助金を返還する必要がある。この場合も休止し、管理は草刈りをすることで大丈夫なのか。また大事な農地であるが畑として生かすことは考えていないのか。ただ草を刈るだけでは今まで一生懸命経費をかけてきた価値が無いように感じる。もう少し考えていただき管理は管理でいいが、有効利用できるような形が取れないのか。使いたいという人がいれば、その人からきれいに管理していただくというのも一つの方法だと思うがどうか。

【廣田副課長】

国の補助事業を活用しているため、廃止するには国との補助金の整理・協議が必要である。そのため休止の取扱いとしている。また有効利用するにも補助金の整理がつかないと行うことができない。農業者や企業による有効利用については今後検討していく。

【松栄委員】

現在利用されていない区画についても草刈りは行われているのか。

【廣田副課長】

耕作している方の迷惑にならない程度に市が行っている。

【高橋会長】

他に意見、質問はあるか。

(意見、質問なし)

なければ以上で、三和ふれあい農園の休止について終了する。

(農村振興課 退席)

次に、4 協議事項に入る。初めに、(1) 各種団体への温浴・宿泊施設の説明の状況について事務局に説明を求める。

【山本所長】

資料No.2 により説明

- ・施設の運営に関するアイデア等は、三和振興(株)へ伝える。
- ・単に温浴・宿泊施設としてサービスを提供する場ではなく、この施設が地域振興等の観

点から地域にとって重要な施設であることを確認するなかで、施設や付属設備の耐用年数の経過により修繕や更新に多額の費用が必要となってくる。

- ・次の世代を担う皆様からも負担いただくことに繋がることから、将来的な在り方について十分な検討を行う。
- ・三和区以外の施設についても現状報告が行われている。
- ・今後は、各区で出された意見を参考に、市全体の温浴・宿泊施設の方向性の考え方を検討していく。また地域協議会をはじめとする地域の関係者に改めて意見をいただく。

【竹下室長】

ホテル米本陣 客室稼働率（平成31年・令和元年度）等により説明

- ・前回の協議会での質問に対する回答
 - ①稼働率について・・・資料のとおり
 - ②JHD（株）及び三和振興（株）の社長の会議出席について・・・検討中
 - ③本年度の事業計画について・・・部門損益計算書による。ただし、コロナの影響が見えない中で策定された計画である。
 - ④計画との差異について・・・コロナ禍の影響を受けての変更はない。計画対比、前年対比については累計損益対比一覧表のとおりであるが、持続化給付金、雇用調整助成金や市の減収補填を加味している。雑収入約1千万、他特別利益約1千万円がこれにあたる。
- ・現在、平日の日帰り入浴の休止や、県や国の利用促進の助成金等を活用し営業努力はしているが、宿泊や宴会での利用も伸びていない状況である。例年冬期間の利用が少なくなり、コロナ禍の影響もある中で三和振興（株）からは、1月4日から2月末まで月曜日から木曜日までの宿泊と宴会、日曜日の宿泊を休止したいと相談があった。今後、協議し決定事項を報告する。
- ・国からの補填は原則12月までとなっている。市からの減収補填は追加して1千万円程となることが予想される。

【高橋会長】

ただ今の説明に、質疑等を求める。

【小山田委員】

過去の約1億円の売り上げからみて、客室稼働率についても3年、4年はほぼ同じような状況であると考えていいのか。

コロナ禍は別の問題として、客室稼働率をどのようにして上げるかが課題であり、戦略を考えないといけない。工夫によりもう少し解決できれば、指定管理料は入ってはいるが単年度収支を改善することは可能だと考える。

上越市の観桜会や蓮まつり等のイベントを利用した宿泊者がいるのか。また、リピーターがどの程度いるのか。魅力が景色と食事だけではなく、稼働率を上げる努力をしてほしい。

また、老朽化から施設等の維持費に多くの経費がかかるが、そこを三和振興（株）へ負担させてはいけない。

まずは、どのように単年度黒字にするかであるが、一番の問題は長い間同じような経営状態のままで、努力が足りなかったことだ。

【竹下室長】

売り上げが約1億円ベースで推移しているが、稼働率についても同じようなベースで動いている。ただし、稼働率は客室であるため宿泊が伴っている。三和振興（株）については、日帰り温泉もあるがさほど収益が出ていない状況である。収益があるのは宿泊と宴会だが、客室稼働率が30パーセント台では、民間事業者では成り立たない数字である。その部分を宴会需要でしのいでいるのが実情である。イベントの活用については、その時期についてはしっかり宿泊利用はある。

リピーターについて詳しいことは後ほど確認するが、年間を通して新しいことをしているわけではないので、新規はさほど見込めないため多いと考える。また区内住民の方の親戚関係の利用が大きく貢献していると考える。

施設等の大規模な修繕については市の施設であるため市が負担している。

【松井委員】

私が思う一番のポイントは、お客のニーズを捉えていないことだ。日帰り入浴をみても休憩所や食事ができないようでは、お客は来ない。その辺りのお客のニーズについて検討をしたかどうかの問題である。支配人は企画を持っていると思うが、それを実施するためのJHD（株）との連携体制が構築されていない。まずは、経営計画を行政ベースで、地域協議会に問題を投げかけてもいいので、実際の議論をする場が必要である。お客のニーズを捉えていない経営のやり方について、いくら議論しても意味がない。そこをJHD（株）の社長や三和振興（株）の社長に伝えたい。

【星野委員】

数字だけの年間計画を見ると補助金がないと経営が全く成り立たない。一般企業ではあり

えない考え方である。アイデアを出して新しいことをしない限りは、数字は出ない。数値を算出する前の段階が何もみえない。いいアイデアを出しながら、そのアイデアをどうしていくかで数字が出てくる。数値の年間計画もありがたいが、年間の稼働率を上げるための目標や経過はどうであったのか。また、それに対する補正として、ただ来てくださいと言うだけではなく、アイデアを出して何をやってきたかを年度別に次の機会に聞きたい。それを踏まえて、次はどうしたらいいのか皆さんにお聞きするのがいいと思う。

【田辺委員】

先般の研修会の時にこの説明で地域協議会が納得したという事にしないでほしいとお願いした。その少し後に新聞に米本陣は廃止ありきで掲載されていた。どういうことなのか。経緯が分かればお聞きしたい。

【竹下室長】

記者が直接三和振興（株）の社長に取材を行い、市に確認しないで掲載した。今の実情として温浴・宿泊施設が多いこと等の事実もあるが、市としては以前から申し上げているとおり、各施設についての明確な方向性は、皆様方としっかり協議をした上で決めていく。その考え方は変わっていない。新聞記者へも改めて現在の状況を説明している状況であり、新聞記事の内容と実情があっていないことは市としても認識している。

【田辺委員】

あやふやな内容が掲載されないように、きちんと対応してほしい。

【高橋会長】

他に意見、質問はあるか。

（意見、質問なし）

なければ以上で、各種団体への温浴・宿泊施設の説明の状況について終了する。

（施設経営管理室 退席）

次に、令和2年度地域活動支援事業採択方針等の振り返りについて、今年度はコロナ禍でプレゼンテーションを行わない中での採点・審査となった。事務局からの説明の前に、今回初めて採点・審査を行った委員から感想をお聞きしたい。

【池田委員】

自分が採点した事業がどのように実施されているか、まだ確認できていない。地域協議会委員として採点した以上、きちんと確認しなければいけないと感じている。

【宮澤委員】

委員になりすぐのことで、プレゼンテーションも無かったため、どこを基準にしていいのか判断に困った。その中でも市の税金であるため、不公平があってはいけないとの思いで行った。

【松栄委員】

実際に頑張っている人の顔を見て採点したかった。

【高橋会長】

引き続き、事務局に説明を求める。

【栗本次長】

資料No.3-1、資料No.3-2、資料No.3-3により説明

- ・各事業のアフターフォローを行う委員を割り振った。実績報告書が提出された事業から順次改めて依頼する。経験のある委員を中心に協力をお願いしたい。

【高橋会長】

ただ今の説明に、質疑等を求める。

【松井委員】

プレゼンテーションの実施の検討にあたり、あまりにもコロナ感染を意識しすぎていたように思う。プレゼンテーション等を実施しなかったのはおそらく28区の中で三和区だけである。3時間もかけて実施していたり、やり方を工夫している地域協議会もあった。我々は、結論を出すのが早すぎたのではないかももう少し検討が必要だったと思う。個人的な要望としたい。

【小山田委員】

アフターフォローは、実績報告が提出された事業から順次連絡を取り合っていくのか。

【高橋会長】

事務局からその都度、担当委員へ案内が送付される。その後、担当委員が連絡を取り合っていくことになる。

【高橋会長】

他に意見、質問はあるか。

(意見、質問なし)

なければ以上で、令和2年度地域活動支援事業採択方針等の振り返りについて終了する。

4 その他に入る。事務局から何かあるか。

【栗本次長】

1点お願いする。三和区方面隊における令和4年度からの体制・資機材等に関する取組方針（案）についてである。

資料No.4により説明

【高橋会長】

ただ今の説明に、質疑等を求める。

【松井委員】

現状配備されている車両については撤去するのか。

【栗本次長】

予備で使用する予定であり、再編が決まり余分があれば市全体で配備を考えていく。

【松井委員】

所長にお聞きする。三和区としてはどのような考えでいるのか。

【山本所長】

三和区としては今ほどの説明のとおり、2つの部が1つにまとまり積載車は1部に1台となる。また統合される場所にも可搬ポンプは予備として置いておくため、部としては1台から2台の配置となる。

【田辺委員】

現在も団員が出動できなく火災の際に苦慮している。大きくなれば益々出動できなくなるのではないか。また、町内として予算を支援している。広域になった場合は市が全面的に支援してくれるのか。備品についても整備してきているがその観点からも非常に不便になると思われる。町内会長連絡協議会ではどのような意見が出されたのか。

【山本所長】

今回の体制の見直しについての基本的な考え方は、団員の少ない部を含め、2部を1部にまとめることにより機動力を持たせることである。

また協力金の関係は、それぞれの部で違う。今後整理していく問題であり、町内会長連絡協議会の全体会で説明を行い協議いただく。

【高橋会長】

きめ細かい対応をお願いしたい。

他に何かあるか。

【池田委員】

消防団の体制の見直しについては、どこが検討しているのか。

【山本所長】

見直しの取組は、消防団三和区方面隊で行っている。三和区において大切なことなので地域協議会や町内会長連絡協議会に説明し、理解をいただきながら再編を進めていく。

【高橋会長】

他に何かあるか。

(なし)

委員から何かあるか。

【松井委員】

配布された議会報告会の案内について、この会は常任委員会の委員長と副委員長が説明や要望を聞いていくと聞いたが三和区へはどのような人が来るのか。

【山本所長】

案内の配布は日程の周知であるため、当日の出席者は把握していない。

【松井委員】

単なる話に来た、聞いて終わりの会ではないのか。状況的に常任委員会の代表的な人だけ来られても意味のない会になる。特にこの説明会は議会報告だけで終わる会であってはいけない。その辺はどうなのか。

【山本所長】

過去の開催の状況、また意見交換会という事なので、十分に出席者のみなさんのご意見を聞く場であると思われる。

【松井委員】

11月議会のなかでも行われ、11月6日から始まる状況で地域協議会の委員だけでも状況を文書化したものでもいいし、できればもう少しどのようなことをやるのかわかる周知ができないのか。

【山本所長】

議員の皆さんの取組のため承知していない。

【高橋会長】

意味があるか、ないかは個人の考えであると思う。

他に何かあるか。

(なし)

最後に次回の開催について、事務局から説明をお願いします。

【栗本次長】

第6回地域協議会について

・11月24日（火）午後6時30分

【高橋会長】

5 その他を終了する。

【小林副会長】

— 挨拶 —

・議会の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線 215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。